

メッセージ・マッパーは、「ポイント・アンド・クリック」型のユーザー・インターフェースから支払い／決済メッセージ変換定義を実行でき、迅速なシステム統合を実現します。

急激に変化し続ける決済業務を取り巻く環境の中で、銀行／決済サービス業者／マーチャントは、新たなビジネス需要や技術的課題に迅速対応できるシステムを必要としています。

新規進出する国でサービス内容の追加、又は既存のカード事業で提供するサービス内容を拡張するなどのビジネス要件が発生した場合、既存の取引先や新たな業者から新たに端末の購入が必要になるかもしれません。コア・バンキングや不正検知など新しい社内システムと別デバイスの統合が必要になる場合もあります。更に、オンラインやモバイルなど新たなサービス提供チャネルを求める顧客の要求への対応を模索する場合もあります。決済ネットワーク関連で発生する新たなビジネス／技術要件を迅速かつ容易に取り入れ、外部環境／パートナーがもたらす変化に適応し続ける対策が必要です。

上記の状況に共通するのは、異なるシステム間でのメッセージ通信です。

メッセージ自体は、どれも類似したデータであり国際的に認知された標準に準拠していますが、標準の適用方法は様々で受信側システムがメッセージを理解できるように変換する必要があります。多くの場合、個々のメッセージはハード・コーディングされており、変化に対応するプロセスは多額の費用と多くの時間を要します。システム統合を容易にできれば、導入プロジェクトの期間を短縮し、メンテナンスが容易になります。

Authentic メッセージ・マッパーは、新しい業務アプリケーションと決済システムの速やかな統合、更に新しい端末技術の採用や通常コーディングを必要とせず、容易な設定を行うだけで新たなメッセージング標準に準拠できるメッセージ検証／変換プラットフォーム・レイヤー(層)をユーザーに提供します。従来のソフトウェア構築アプローチと比較して、劇的に少ない労力でシステム統合が実現します。



メッセージ・マッパー 活用のメリット

- レガシー・システムの機能拡張を実現しIT 投資効果を最大化
- 変更適用から発生するコストとリスクを最小限に抑えながら、既存システムの俊敏性を確保
- プログラミングやコーディングに多額の費用をかけずに、メッセージ変換を実現
- 多大な労力を要してきた作業を日常的な設定作業(ルーチン・ワーク)に変換
- 決済ネットワークにより対応を義務付けられる変更の適用を簡素化
- 新たなインターフェース/アプリケーション/メッセージング標準の開発及び検証の負荷を削減
- メッセージ変換作業やインターフェース管理に従来かかっていた多額の費用を最小化

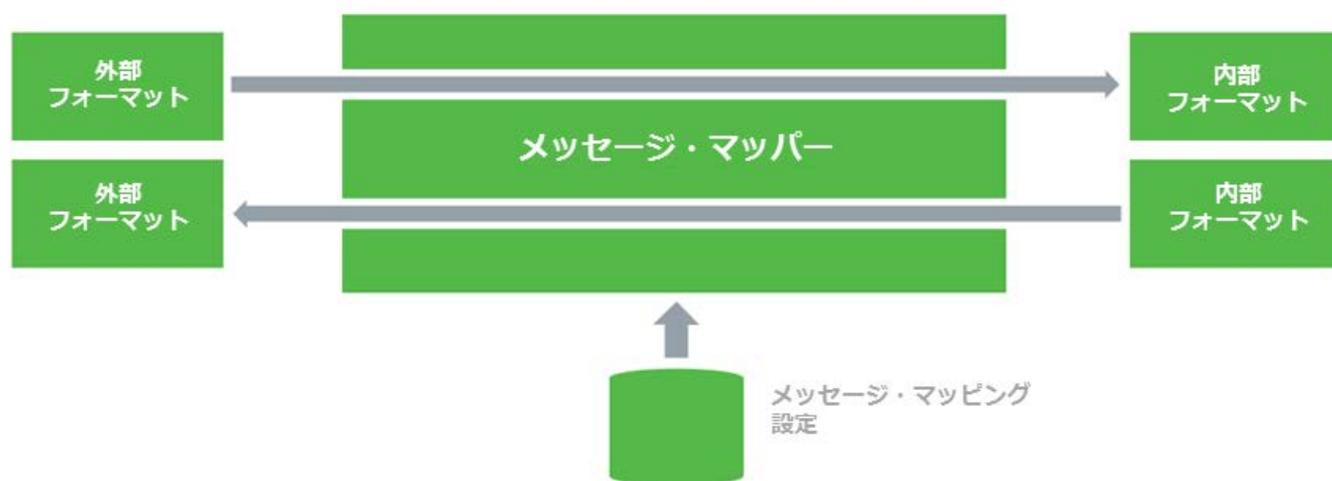
個別インターフェース向け メッセージのマッピング

メッセージ・マッパーを活用する事によりユーザーは、決済関連メッセージを新しいフォーマットに変換や異なるシステム間のコミュニケーションを容易に実行できます。

メッセージ標準/プロトコル/仕様に依存せず、異なるシステムのインターフェース・フォーマットに適応する形にメッセージを変換します。迅速かつ容易にメッセージのフォーマットを定義し、通常コーディングを必要とする事なく、検証そして変換の実行ができる単純明快な「ポイント・アンド・クリック」型のユーザー・インターフェースを提供します。データ要素が複雑な変換を必要とする場合は、Java で書かれたプラグインを利用する事で、マッピング・プロセスに組み込む事ができます。

メッセージ・マッパーは、リアルタイム/バッチ両方の処理方法でメッセージ変換できます。又、決済アプリケーションに通常使用されているメッセージ・フォーマットは全てサポートしています：ISO 8583 などビットマップ形式、(XML 等)タグ付け/固定フィールド形式 等。

NCR が提供する製品は全て、メッセージ・マッパーを活用し他システムと接続します。Fractals や Authentic の導入プロジェクトでは、メッセージ・マッパーの持つフィールド形式の豊富なライブラリーが、社内外のシステム/チャンネル/ネットワークを迅速に統合させるのに貢献します。ユーザー企業は、これらの接続を自社で容易に管理する事ができます。





基盤となるアーキテクチャー

メッセージ・マッパーは、開発とメンテナンスが容易にできる Java で書かれています。メッセージ・マッパーは、SOA 開発や ISO 20022 のメッセージング環境構築など、既存の決済システムを拡張する構成要素として最適です。

NCR が提供する他のあらゆるソリューションと同様にメッセージ・マッパーは、無停止オペレーションと自由な拡張性を前提条件として設計されています。実行システム・コンポーネントの複数コピーをネットワーク化されたコンピューターに分配して処理の負荷分散を行い、比類なきアップタイムを提供します。

メッセージ・マッパーは、特定のプラットフォームに依存しません。Java 実行環境をサポートし、Oracle などオープン技術を採用するデータベースであれば、メッセージ・マッパーをユーザー任意のプラットフォームに実装できます。サポートしているオペレーティング・システム(OS)には、UNIX/Windows/Linux が含まれます。このアプローチにより、ユーザーは自社に合うプラットフォームを選択する事が可能になります。(Stratus, IBM, HP, Oracle Sun 等)

ひとめで判るメッセージ・マッパー

- システム間的高速統合を実現させるメッセージのフォーマット変換
- 迅速かつ容易に設定が行える、直感的でユーザー・フレンドリーな UI
- 主要な決済ネットワーク及びデバイス向けの設定を「アウト・オブ・ボックス」活用
- リアルタイム/バッチの両方でメッセージ変換処理
- 独自インターフェース構築に活用できる豊富なフィールド形式のライブラリーを含み、プログラミングの必要性を低減
- ビットマップ形式をサポート(ISO 8583、XML、固定フィールド 等)
- 決済業務のエキスパートにより、決済市場に特化して設計されたソリューション
- 決済のみならず様々なサービス関連のメッセージを処理(その他の銀行サービス、ロイヤリティ、CRM)
- 市場に流通しているオペレーティング・システムとハードウェア環境で稼動
- 無停止オペレーションと自由形式の拡張性を提供する様に設計

無停止オペレーションと自由な拡張性

プラットフォームに依存せず完全独立

Why NCR?

NCR Corporation (NYSE: NCR) is the global leader in consumer transaction technologies, turning everyday interactions with businesses into exceptional experiences. With its software, hardware, and portfolio of services, NCR enables more than 450 million transactions daily across the retail, financial, travel, hospitality, telecom and technology industries. NCR solutions run the everyday transactions that make your life easier.

NCR is headquartered in Duluth, Georgia with over 26,000 employees and does business in 180 countries. NCR is a trademark of NCR Corporation in the United States and other countries.

NCR Corporation
3097 Satellite BLVD 700 bldg
Duluth GA 30096

